



平成31年 2月 14日

## あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

団体名	一緒に歩こう会	居場所サロンわかばハウス
代表者名	代表	河野 博明
所在地	大分市金池町4丁目9-4	
電話	080-2798-1661	



あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

### 記

1. 事業名 社会的養護等出身者の実家機能拡充とボランティアとの交流
  
2. 事業の概要 平成23年4月、大分県の委託事業として社会福祉法人が事業主体となり児童養護施設等の退所児童のアフターケア事業を開始し、大分市内に事業所を設置し相談支援活動を実施してきた。しかし、平成29年秋、事業主体の社会福祉法人が次年度の方針で事業継続を行わないこととなった。利用者を見捨てることができないという強い思いから、事業を担当していた有志で継続の道を模索し、平成30年4月に任意団体「一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス」を設立し、①居場所サロンの運営②相談支援③交流会の開催④各関係機関との連携⑤支援者サロンの実施という5つの運営方針を立て事業を継続している。
  
3. 事業費 385,000 円
  
4. 交付申請額 154,500 円
  
5. 概算交付 概算交付を希望する。  
概算交付を希望しない。  
※注意 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。
  
6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)  
(2) 事業計画書(様式2)  
(3) 収支予算書(様式3)  
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)  
(5) 誓約書(様式5)  
(6) 活動目標設定書(様式6)  
(7) 規約、会則、定款等の写し  
(8) その他市長が必要と認める書類

(i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)

(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

## 団体調書

## 1 団体の概要

団体名	(ふりがな) いっしょにあるこうえいばしょさろんわかばはうす 一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス				
事務所の所在地	〒870-0026 大分市金池町4丁目9-4				
	電話	080-2798-1661	FAX	なし	
代表者氏名	(ふりがな) こうの ひろあき 河野 博明		団体構成員数	5人	
連絡責任者 ※ この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	(氏名)	[REDACTED]		携帯	[REDACTED]
	(住所)	[REDACTED]		FAX	なし
	(電話)	[REDACTED]		E-mail	[REDACTED]
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	1	その他の分野	2・10・13	
設立年月日	平成30年4月12日		会報等の発行	有(年回発行)・ <b>無</b>	
ホームページ	https://www.facebook.com/wakabahouse.aftercare/		E-mail	jidou8899@yahoo.co.jp	
主な活動地域	大分市全域				
団体の活動目的 ※ 団体の活動目的を簡潔明瞭に記入してください。	社会的養護等の出身者で社会的自立が困難な若者に家庭環境に近い居場所を提供することで、一般家庭の日常生活を知らない当事者が、日常生活や家庭の雰囲気を感じることによって家庭の雰囲気や安心感を身につけ、将来家庭を持つとき、家庭とはどういった空間なのかを知るロールモデルの一つとする。また利用者が社会に巣立ち、つまづいた時などにそれぞれの思いや気持ちを気兼ねなく話し合い、再スタートに向けての課題を共有しながら解決に向けて一緒に過ごせる家庭的な空間を提供することを目指す。				
これまでの主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数	
	30	居場所サロン	81回	401名	
	30	支援者サロン	2回	15名	
	30	意見交流セミナー	1回	18名	
			回	名	
			回	名	
これまでに補助や委託を受けた実績	年度	補助(委託)元	補助事業名	金額	
	30	ソフトバンク	チャリティスマイル	990,000円	
	(例) 30	大分市	1%応援事業	300,000円	

## 2 活動計画書

## 事業の実施に関する事項

## (1) 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予 算 額 (千円)
社会的養護等出身者の実家機能拡充とボランティアとの交流	社会的養護出身者等で社会的自立が困難な若者とボランティアとの交流	毎週火・木と毎月1回日曜日	大分市 金池町	530	105	385
小計					105(a)	385(c)

## (2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予算額 (千円)
支援者交流事業	意見交換会や勉強会を開催し、情報共有を行う	6, 11, 2月	大分市内	30	3	30
小計					3(b)	30(d)

合計	(a)+(b) 108	(c)+(d) 415
----	----------------	----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b)	(c)/(c)+(d)
	97%(A)	93%(B)

全活動に占める公益的活動の割合 $\{(A) + (B)\} \div 2 \times 100$ ※ 小数点以下は四捨五入してください。	95%
---	-----

## 事業計画書

事業の名称	社会的養護等出身者の実家機能拡充とボランティアとの交流	
事業内容	主な対象者	中学卒業以上の社会的養護出身者とボランティアを希望する市民
	内容	社会的養護出身者等で社会的自立が困難な若者が主に利用している居場所サロン「わかばハウス」において、彼らの仕事の休日である日曜日に、職業や性別も様々なボランティア（40代～70代）と交流の機会を設ける。年長者であるボランティアは、温かみのある空間をつくることを目指す。ともすれば、児童養護施設出身者だけの繋がりの中で殻にこもり第三者を拒みがちな若者と、彼らを支援する大人としてではなく、「同じ釜の飯を食った仲間」として安心感のある信頼関係を構築する。また、ボランティアとの交流を通して、彼らが人生に不可欠な社会人として生きていくためのスキルの獲得を目指す。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月）	内容 別添の事業スケジュールをご確認ください。
広報計画・方法	※ 広く市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画等を記載してください。 ・ facebook 等の SNS での広報 地元自治会へのチラシ配布 ・ 児童福祉施設（児童養護施設、母子生活支援施設など）や里親・ファミリーホームなどの関係機関へチラシを送付	
新規事業、継続事業の別	※ 申請事業について、該当する□にチェックしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 <input type="checkbox"/> ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	
見込まれる効果 ※ 地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか、簡潔明瞭に記入してください。	①色々な体験をすることで成功体験を獲得する事ができ、利用者の自己肯定感を上げていくことが期待される。 ②自分の事をよく知ってくれている人がいるということは、相談しやすい環境づくりへつながることが考えられ、利用者が困った時に気軽に相談できるという安心感へとつながる。 ③利用者自身が大人のロールモデルを獲得する事が出来るため、大人の行動を知る事で社会生活から逸脱するリスクを回避できる可能性が高くなると考えられる。 ④ボランティアが他の機関と連携して利用者が目標とする就労や資格取得など、利用者ひとりひとりの目標にむかって伴走していく仕組みづくりを行う。	

## 『社会的養護等出身者のボランティアとの交流』事業スケジュール

### 【ボランティアの募集・育成】

「わかばハウス」は大分駅から徒歩圏内の住宅街にある戸建住宅である。利用者が気軽に立ち寄れる「実家機能」の充実を図るためには、開所日を現在よりも増やしていかなければならない。それゆえに、ボランティアの育成は急務である。

まずは、行事活動を中心にしたボランティア参加を行うことで、相互の理解を深め、ボランティアとして活動できる人材を育成する。活動時は、温かみのある空間で利用者との交流をはかれるような工夫を行いながら、社会的養護出身者の生きづらさについて、共に考える機会を設ける。

### 【居場所サロンの実施】

社会的養護出身者は、成長過程において、家族とともに過ごす日常の中で獲得する学びの機会を奪われてしまうことが多く、家庭の雰囲気を知らない事が往々にして起きる。もし家庭環境に近い居場所が提供できれば、その雰囲気を感じる事ができ、将来成長し自分で家庭を持った時、家庭とはどういった空間なのかを知るロールモデルの一つになるのではないかと考える。また同じような環境で生活してきた仲間を得ることにより、社会で孤立せず生活する事が出来る。

毎週火曜・木曜に居場所として利用できる空間を開放し、気軽に相談や時間を過ごすことができる機会を作る。また月に一度日曜日に、季節行事や野外活動を実施する。活動では、利用者が日本の四季や文化に即した行事に自主的に参加し経験を重ねながら、生活に必要な知識や知恵、文化を、利用者自身が能動的に身につけていくことを目指す。

### 平成 31 年度日曜サロン予定

4月	お花見
5月	調理実習(端午の節句柏餅作り)
6月	スポーツ交流会(体育館でのバドミントン)
7月	夏祭り(夜店散策)/七夕
8月	ポーリング大会(出身施設の職員との交流会)
10月	野外活動(果物狩り等)
11月	パソコンを利用した年賀状作成
12月	大そうじ・餅つき
1月	初詣・鏡開き
2月	調理実習(バレンタインデーのお菓子作り)

## 収支予算書

事業の名称： 社会的養護等出身者の実家機能拡充とボランティアとの交流

## 1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	154,500	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	40,000	2000円×20人
事業収入	79,000	サロン参加費 200円×395名
寄附金収入	50,000	個人@5000円×10名
その他	61,500	自己資金
合計	385,000	

## 2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	60,000	有償ボランティア 3,000円×20人
旅費	0	
消耗品費	10,000	封筒、文房具、事務用品類
燃料費	20,000	レンタカーのガソリン代
食糧費	111,000	利用者・支援者の茶菓子代【補助対象外】
印刷製本費	48,000	パンフレット、チラシの印刷代
通信運搬費	24,000	郵便代 (ハガキ、切手等)
広告料	0	
保険料	18,000	ボランティア保険 500円×20人 野外活動用保険 200円×40人
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	50,000	野外活動用レンタカー代 会場使用料【研修会用補助対象外】 5,000円×3回分
原材料費	34,000	餅つき・花見開催時の食材費 調理実習食材費
備品購入費	10,000	使い捨て容器等の日用品類
合計	385,000	【内、補助対象経費：259,000円】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。